

2008 グランツーリスモ D1グランプリ 第3戦

5/24 SAT - 25 SUN

鈴鹿サーキット 東コース

競技区間：ダンロップコーナー～S字（左回り・逆走）

- 大会名称：2008 グランツーリスモ D1グランプリシリーズ 第3戦
- 併催：2008 D1ストリートリーガルシリーズ 第2戦
- 主催：株式会社 D1コーポレーション / 株式会社 モビリティランド



時速130km超からドリフト開始！鈴鹿ダウンヒルを豪快に駆け抜ける！
大迫力のD1グランプリが今年も鈴鹿に見参！！
今年のD1は大接戦、大混戦だ！

「のむけん」こと野村謙
(昨年の鈴鹿ラウンドでの走り)



ハイスピード&テクニカルな鈴鹿を制すれば、その後の戦いに勢いがつくのは確実。「鈴鹿を獲る」ために、これまでになく気合の入ったバトルが展開されるはずだ。

2006年中部関西地区初開催となったD1グランプリ鈴鹿ラウンド。昨年はさらにスピードアップ。時速130kmを超えるハイスピードでダンロップコーナーに侵入し、そこからドリフト開始。そのまま逆バンクに突入！S字から逆バンク、ダンロップコーナーへと続く登り坂を、逆回りで駆け下りてくる、鈴鹿ならではのハイスピードドリフトに詰めかけた大観衆は度肝を抜かれ、華麗なテクニックに酔いしれた。

そして今年だ。開幕戦で昨年のチャンピオン、シルビアの川畑真人が優勝。王者の貫録を見せつけたが、続く第2戦は180SXの古口美範が優勝。シリーズランキングでは連続4位となった、昨年の鈴鹿ウィナー、RX-7の末永正雄がトップにつけて、これを開幕戦2位のスーパーヒーロー、「のむけん」ことスカイラインの野村謙が追う展開。まさに群雄割拠、大混戦。誰が勝ってもおかしくない状況で鈴鹿ラウンドを迎えることになったわけだが、



川畑真人

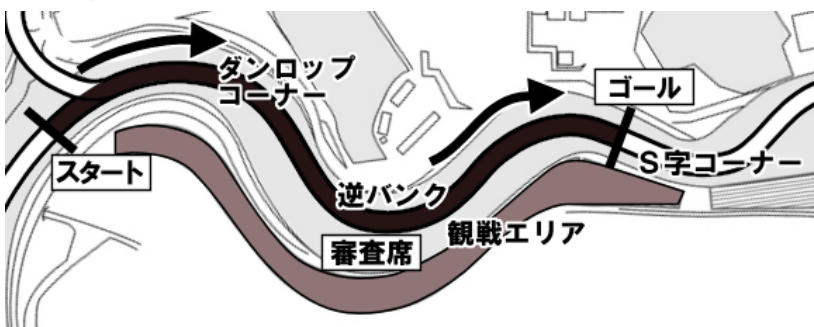


古口美範



末永正雄

■競技区間



競技は通常レースとは逆回りとなり、ダンロップコーナーから7.8%勾配をドリフトしながら駆け下り、逆バンク～S字コーナーへと駆け抜けていく。

多彩な車種が対決する追走トーナメントは大迫力！ 土曜日はD1ストリートリーガルの決勝開催！



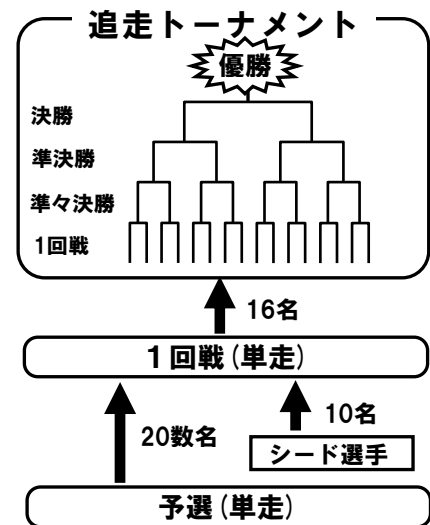
D1ストリートリーガルの追走トーナメントの様子

D1GP(D1グランプリ)に参戦するマシンは多彩だ。2輪駆動のみでレギュレーションに沿っていればどんな車種でもOK。人気のハチロク(レビン・トレノ)、スカイラインGT-Rをはじめ、シルビア、RX-7、フェアレディーZ、インプレッサ、180SX、クラウン、マークII、チェイサーなどなど。競技はまず単走(単独走行)による予選が行われ、「角度」「スピード」「走行ライン」などの要素がチェックされ、上位20数名

と、その時点でのシリーズポイントランク上位10名の計30数名が1回戦に進む。1回戦の上位16名が進出するのが「追走トーナメント」。ここからがD1GP最大の見せ場。先行のマシンに引き離されたら負け。先行車との距離をつめ、インに入れば勝ちだ。ただし判定にはドリフトの角度や、マシンの性能差も考慮される。追走は前後の車両を入れ替えて2本行われるが、明確な勝負がつかなかった場合は延長戦に入り、どちらかがミスをするまで続けられる。多彩な車種が兆接近戦を展開。手に汗握るシーンが何度も何度も繰り返されるのがD1最大の魅力だ。

また昨年初開催されたD1SL(D1ストリートリーガル)がシリーズ第2戦として今年も開催される。D1GPよりも改造範囲が厳しく制限されており、合法的に一般道を走行できる車両が参加できるもので、将来のトップを目指す若手がしのぎを削る。競技方法はD1GPと同じだが、こちらは24日土曜日に単走1回戦と優勝を決める追走トーナメントが行われる。土曜日は同時にD1GPの予選も行われるため、まさに熱い熱い1日となる。

金曜日	D1GP練習走行 D1SL練習走行
土曜日	D1SL1回戦(単走) D1GP予選(単走) ★D1SL追走トーナメント
日曜日	D1GP1回戦(単走) ★D1GP追走トーナメント



観戦のお楽しみが、続々と決定！

土曜日に有カドライバーのサイン会開催決定！！ 場内FM放送のON AIRも決定！



昨年のサイン会の様子

D1グランプリは観客へのサービスも盛り沢山。土曜日の5/24にはシード選手(D1グランプリの有カドライバー)らによるサイン会の開催が決定した。具体的な参加ドライバーの決定はこれからになるが、数多くの人気ドライバーたちが我先に参加してくれるだろう。(パドックエリア内ピット上ホスピタリティブースを会場として開催予定。時間は調整中。)

その他、パドックエリアでは関連スポンサーやショップの出展ブースが立ち並び、タイミングが合えばお目当てのドライバーやマシンに接近遭遇できるかも。今大会では観戦券のみでパドックエリアへの入場もOK！特別なパスを追加購入する必要なしで、とことんD1を楽しめる。

さらに加えて、土曜日・日曜日の2日間、場内FM放送のON AIRが決定！D1の楽しみのひとつには、あの“ドリキン”土屋圭市審査委員長や“マナP”こと鈴木学(解説)らによる軽妙かつ刺激的な実況コメントで盛り上がること。FMラジオを持ってくれば、その実況がD1マシンの爆音の中でも、聞き逃すことなく堪能できるだろう！(周波数は、FM76.0MHz)



昨年のパドックエリア出展ブースの様子

信じられない角度・ケムリ、そして迫力！そのすべてをカラダで感じ取ってください！！

by “ドリキン” 土屋圭市 審査委員長

「鈴鹿のD1は、レーシングコースの逆走となり、ダンロップブリッジから落ちていくドリフトが特徴です。これはほかのラウンドにはない鈴鹿ならではのコースで、逆バンクへ抜けていく姿は非常に迫力がありますね。下りながら空転するタイヤより巻き上げられるケムリの高さ、そして濃さ。そのケムリが続くのか、切れるのか。そこが見どころといえます。

いっぽう、右・左・右と連続するコーナーで、クリッピングポイントがクルマの半車身ずれただけで0.1点のマイナスポイントという、審査員としてはシビアな採点をしなければなりません。タイヤ1本分のインクリップ、アウトクリップが非常に重要なポイントといえるでしょう。速くりズミカルに決められたポイントをクリアすることができれば、単走審査では満点の100点も期待できますよ！

今年も鈴鹿でD1ドライバーが大暴れます！ぜひサーキットに足を運んで、この興奮を存分に味わってください！」



チケット好評販売中！

●前売観戦券は枚数限定販売につき、お早めにお求めください！●

- ※前売観戦券(2日間通し観戦券、土曜日観戦券)は販売枚数限定となります。
- ※前売観戦券(2日間通し観戦券、土曜日観戦券)の販売は5月23日(金)にて終了となります。
- ※前売観戦券は販売終了日[5月23日(金)]以前に完売となる場合があります。
- ※前売観戦券完売の際は、当日観戦券(日曜日観戦券、土曜日観戦券)の販売はございません。あらかじめご了承ください。

[価格は全て税込]

前売観戦券		当日観戦券		
	大人		大人	高校生以下
土曜日観戦券 [5月24日(土)]	2,000円	土曜日観戦券[5月24日(土)]	2,500円	★ゆうえんち入園料
2日間通し観戦券 [5月24日(土)・25日(日)]	3,800円	日曜日観戦券[5月25日(日)]	4,500円	★ゆうえんち入園料

- ※高校生以下の前売観戦券の販売はございません。当日ゆうえんち入園券をお求めください。
- ※全席自由席となります。(指定席の販売はございません。)
- ※観戦券にモトピアパスポートはついておりません。
- ※大人の方はパスポートではご観戦いただけません。
- ★ゆうえんち入園料：中・高校生1,600円、小学生800円、幼児(3歳～未就学児)600円

鈴鹿、もてぎのチケット・グッズが同時に買える新オンラインショップ「MOBILITY STATION」オープン！
詳しくは <http://mls.mobilityland.co.jp/> にアクセス！

チケットのお求めは	券種によってお取り扱いのない窓口もございます
■鈴鹿サーキットレースチケットセンター	5月23日(金)まで(販売時間 10:00～17:00)
■鈴鹿サーキット電話通信販売 ☎059-378-1100(通販専用)	5月18日(日)まで(販売時間 10:00～16:00)
■MOBILITY STATION http://mls.mobilityland.co.jp/	5月19日(月)9:00まで(24時間受付)
5月23日(金)まで販売(一部販売期間が異なる店舗がございます。)	
●電子チケットぴあ ●CN プレイガイド ●ローソンチケット ●イープラス ●セブン-イレブン ●ローソン ●ファミリーマート ●サークルK・サンクス ●am/pm	
※コンビニには時間帯に制約があります。※販売店によって、一部取り扱いのない券種があります。	

チケットに関するお問い合わせ：鈴鹿サーキットレースチケットセンター ☎059-378-1111(代)